

科目名	学校臨床論演習	
担当者	野浪 俊子 / NONAMI, Toshiko	
科目情報	心理臨床<教育臨床> / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
	読替科目：平成22年度以前入学生「教育方法論演習」	
科目概要	授業内容	本科目は、適応支援の指導法として一役を担う音楽療法の手法を用いた教育方法について考えていきます。また、特別なニーズのある子どものコミュニケーション方法について、音楽療法の手法を用いた実践的展開を通して検討していきます。
	到達目標	(1) 教育方法の一試論となる音楽療法の意義について理解する。(2) 教育方法の一役を担う音楽療法の実践的展開を通して、適応支援への指導法について理解を深める。 (3) 特別なニーズのある子どものコミュニケーション方法について、音楽療法の視点から考察することができる。
授業計画	(1) 適応支援の指導法としての音楽療法の意義・目的 (2) 音楽療法の概念と定義 (3) 音楽療法の作用 (4) 音楽療法の原理 (5) 音楽療法のアセスメント（評価） (6) 適応支援における音楽療法の活用法① (7) " 音楽療法の活用法② (8) " 音楽療法の活用法③ (9) " 音楽療法の活用法④ (10) 適応支援における音楽療法の実践的展開① (11) " 音楽療法の実践的展開② (12) " 音楽療法の実践的展開③ (13) " 音楽療法の実践的展開④ (14) " 音楽療法の実践的展開⑤ (15) 適応支援における音楽療法の展望と課題	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・自らの経験と講義内容を踏まえ心を育む指導の在り方について省察し理解を深めること。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。必要な資料や教材は授業中に配布する。 【参】村井靖児著 『音楽療法の基礎』 音楽之友社 1995年 ISBN 4276122880 中島恵子・山下恵子著 『Co-Musictherapy ～音と人をつなぐ～』 春秋社 2002年 ISBN 4393934679	
成績評価方法と基準	<基準> 適応支援の指導法を担う音楽療法の意義について習得し、音楽療法の実践的展開を通して、特別なニーズのある子どものコミュニケーションの在り方について考察することができることを合格の基準とします。 <方法> 最終レポート(50%)、小レポート(25%)、演習発表態度(25%)を目安に評価します。	
備考		